

テーマ「選挙権を持つということ」

筑前高等学校 江島 愛唯花

私が十八歳になった年、選挙権が十八歳から引き下げになり、私は初めての選挙を体験することになりました。私は昔から、両親が選挙に行っているのを見ては、私も投票したい、と思っていました。そして、今年選挙権を持ち、この一票を大切に投票したいと思い、選挙について調べることも多くなりました。

私が選挙に向けて調べものをする時は、ほとんどがニュースやインターネットを利用していました。そこで気をつけた点がいくつかありました。一つは、「鵜呑みにしない」ことです。特にインターネットやテレビのニュースでは、情報量が膨大な上、書き手によって意見が様々なので、同じ題材の記事でも、複数のサイトなどで調べるなどして、自分の考えを固めていきました。二つ目は「批判しない」ことです。最近では、インターネットの記事にコメントを残すことができる機能がついていますが、人物を批判しているような記事を見つけても、コメント等で注意してしまうと炎上してしまうおそれがあるからです。確かに自分と意見の違う人を見ると、ついイライラしてしましますが、人にはそれぞれの意見や考え方があるんだ、と考え、気に入らなかった記事は読み飛ばしたりしながら情報を集めました。

そして、投票日当日、私は母親と一緒に会場に向かいました。私は学校で投票の流れについては実際に体験していたので、特に迷うことなく投票できました。しかし、学校で投票の体験をした時とは全く違う雰囲気、少し緊張もしました。私はこの、初めての選挙を通して、政治のことについてはもちろんですが、物事について調べたり、その中から選んだりする力もついたと思います。今回の選挙も、若者の投票率が低かったようですが、私はこれからも選挙がある時は、参加していきたいです。また、選挙に行く時は、友達を誘ったりして、少しでも投票率が上がるように協力したいです。せっかく得た選挙権なので、大切に投票したいし、選挙権を持っている人たちにも、自分の一票を大切にしたいと思いました。